

(様式第8号)

## 事業報告書（令和4年度）

事業名 多世代でつながる！地域のえんがわプロジェクト

団体名 特定非営利活動法人 まんなか

担当者名 岡田直子

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

### 1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

◇誰もが集える地域の縁側（全10回）

【日時】7/6、7/20、8/17、8/31、9/21、11/2、11/16、12/7、1/18、2/1

9:30~11:30/14:00~17:00

【場所】旧旭竜幼稚園

【対象】プレママ、プレパパ、乳幼児親子、小中学生、高校生大学生ボランティア、地域の方、子育て支援関係者

【人数】全10回 368人（平均36.8人/1日）

誰もが気軽に遊びにこれる居場所として開催した。午前中は乳幼児親子、午後は放課後の小学生の参加が多かった。子どもたちは自由にのびのびと過ごし、工作コーナーでは物作りをしたり、異年齢での交流し、ここで関わった子どもたちが、居場所以外の公園などでの交流する様子も見られるようになった。

また、地域の方の利用、お手伝いも増え、畑や花壇の手入れ、野菜の収穫作業などを通じて多世代交流ができた。活動の様子は岡山市のYouTube動画にも取り上げられた。



(様式第8号)

#### ◇卓球練習会

【日時】7/6、7/20、8/17、8/31、9/21、11/2、11/16、12/7、1/18、2/1  
9:30~11:30/14:00~17:00

【場所】旧旭竜幼稚園

【対象】小中学生、地域の方

地域の方に卓球台を設置してもらい自由に使えるようにした。地域の方は午前中の出入りが多く、放課後は小学生や幼児が遊んでいた。

#### ◇卓球大会

【日時】2/5 10:00~11:30

【場所】旭竜コミュニティーハウス

【対象】小中学生、地域の方

【人数】29人

老人会のピンポンクラブと一緒に大会を開催した。世代関係なくチームに別れ、簡易ルールにて試合を行なった。景品には寄付で頂いたお米などを用意した。子どものスマッシュがきまるとチーム関係なく大拍手、幼児とボールの投げ合いをして交流する方もいた。この時の様子を山陽新聞の投稿欄に投稿して採用された。



#### ◇本のブツブツ交換会

【日時】7/6、7/20、8/17、8/31、9/21、11/2、11/16、12/7、1/18、2/1  
9:30~11:30/14:00~17:00

【場所】旧旭竜幼稚園

【対象】どなたでも

【人数】10名程度（広場での読書を除く）

地域の方から絵本や単行本など、たくさんの本の寄付を頂いた。当初は本の数も少なかったが、徐々に本も集まりだし、ブツブツ交換をしたり、小学生はその場で読む姿も見られた。

(様式第8号)



◇学校に行きづらい子、不登校の親の会（子どもの居場所から名前を変更しました。）

【日時】2/1、1/18 9:30~11:30

【場所】旧旭竜幼稚園

【対象】どなたでも

【人数】1/18 「しつけより、勉強より、大切なこと」17名

2/1 「学校に行きづらい子、不登校の親の会」6名

学校に行きづらい子の居場所として開催を始めたが、子どもにとっては初めてのところに連れられてくるとなると難しいのではないかと判断から、親の会とし、子どもも同伴可とした。1月から座談会を開催した。



◇ベビーヨガ 足形アート

【日時】7/6 10:00~11:00

【場所】旧旭竜幼稚園

【対象】乳幼児親子

【人数】乳児親子7組

【講師】POLA 後楽園店

乳幼児向けのボランティア活動をされている、POLA 後楽園店の方に来て頂き、ベビーヨガと足形アートを開催した。1歳未満児が多く、予約はすぐに埋まった。

(様式第 8 号)

ベビーヨガ  
手形足型アート  
2022年  
7/6(水)  
10時～

参加費  
300円



赤ちゃんに愛情たっぷりの語りかけと  
ふれあひ遊びによるスキンシップ  
小さな可愛い手形足型アートを残しませんか？



予約・問合せ  
NPO法人まんなか  
公式LINE、またはGmail  
mannaka\_mannaka@gmail.com



◇夏休みの宿題の絵を描こう！ 島田ルウナ

【日時】7/20 10:00～11:00

【場所】旧旭竜幼稚園 1階教室

【対象】小学生

【人数】子ども20人 大人2人

イラストレーター島田ルウナさんに来て頂き、一緒に絵を描いた。教えるということではなく、その時のインスピレーションや、自由に絵を描くということを重視した。子どもたちは講師の絵を真似したり周りを見ながら考えながら絵を描く子、ずっと筆を走らせる子、子どもたちの個性が見られ、夏休みの貴重な体験となった。



イラストレーター 島田ルウナ  
ゆるやかな筆致と繊細な線画が、絵に温もりと愛を注ぎ、見る者の心を癒す。絵の表現力が高く、絵の完成度は高い。

夏休みの宿題？  
7月20日(水)10時～11時  
旧旭竜幼稚園 1階教室

【お問い合わせ】  
mannaka\_mannaka@gmail.com

イラストレーター 島田ルウナ  
ゆるやかな筆致と繊細な線画が、絵に温もりと愛を注ぎ、見る者の心を癒す。絵の表現力が高く、絵の完成度は高い。

夏休みの宿題の絵を描こう  
予約無料





(様式第8号)

### ◇双子の会

【日時】7/20 12/7 10:00~11:30

【場所】旧旭竜幼稚園 遊戯室

【対象】双子乳幼児親子

【人数】7/20 15人(双子5組)

12/7 25人(双子8組)

今年度から始まった双子の会。双子ならではの可愛さや育児の具体的な悩みなどを共有。この会を通じた繋がりもできていて、現在はすぐ予約が埋まる状態であった。今後、父親を交えた双子の会なども開催予定である。



### ◇産後リハビリ

【日時】9/21 10:00~11:30

【場所】旧旭竜幼稚園

【対象】産後の3ヵ月以降のママ

【人数】7人

【講師】理学療法士 竹内舞子

出産前後の体の変化についてのお話を聞き、実際にストレッチをした。参加者の方からは「定期的開催してほしい」「体が軽くなりました」といった声があった。この日は、元保育士さん達に見守り託児の抱っこボランティアに来ていただきました。



(様式第8号)

◇膣トレーニング 濱田由紀

【日時】11/2 10:00~12:00

【場所】旧旭竜幼稚園

【対象】女性限定

【人数】7名

講師：ままからだっこ 理学療法士 はまだゆき

尿漏れ改善や産後ケア。産後のママから80代の地域のシニアの方まで集まった。妊娠出産や加齢で、女性の体、特に骨盤底筋がどのような変化をするのかという説明を聞き、フェイスタオルや風船を使って実際にトレーニングを実践。少し離れた場所では、元保育士ボランティアさんによる見守り託児がおこなわれた。



◇発達障害のおはなし会 田中朋子

【日時】11/16 10:00~11:30

【場所】旧旭竜幼稚園

【対象】興味がある方、当事者

【人数】6名

講師：カラフルキッズの会 にじのね 代表 田中朋子

発達障害や個性的な子どもの親が集まり、困っていることや、学校や園、療育施設や病院のことなどの情報交換をした。これから進級や進学で新しい環境に進む時、子どもの不安な気持ちを受け止めつつ、広い視野をもって自分の中の気持ちにも向き合いかたなどを共有した。オススメの本の紹介。



(様式第8号)

◇みんなでごはんをたべよう(仮) 光岡明里

【日時】2/1 14:00~17:00

【場所】旧旭竜幼稚園

【対象】どなたでも

【人数】21名

講師：光岡明里

寄付していただいたお米や花壇でできたお野菜を活用し、お試して、子ども食堂イベントを開催した。子供たちと料理をすることから実施しようと思ったが、段取りが難しかった。この日のメニューは「豚汁とおにぎり」。地域の方もたくさん食べに来てくれ、大好評だった。一度開催してみることで、課題なども見え、来年度の定期開催に向け体制を整える機会となった。



## 2. ESDの視点

### ① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

乳幼児とシニア世代が関わったり、赤ちゃんを抱っこしてもらったり、未就園児と小学生と一緒に遊ぶ姿がよく見られた。この広場がきっかけとなり、広場以外でも交流する姿が見られ、地域の中でのコミュニティーの拡大、関係作りができたと考えられる。目標としていた、「近所に顔見知りを増やす」ということができおり、地域での好循環が生まれる場となっている。子育て世代は、自分の子どもより少し大きい子たちと関わりながら、子育ての先輩と話をし、子育てへの向き合い方を学んだ。地域の方の優しいまなざしを感じ、異年齢で関わり、多様な価値観を感じる機会になった。

### ② どのように学び合いを取り入れたか

旭竜学区の各団体と連携をとることにより、世代間の価値観共有や子供たちへの優しい思いが分かり合えた。協力し合いながら、運営体制などについても信頼関係ができた。また、助産師や看護師、支援員など専門の講師を招き、最新情報を学び、知識を更新した。座談会などで当事者などの声を聞くことによって、新たな発見、同じ悩みを持つ方へのアドバイスをすることがしやすくなった。

③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

直接、乳幼児親子や子供たち、地域のいろんな方と関わることで、学びと実践が結びつく時間になった。座談会や講座での学びをお母さんお父さんからの相談に生かしたり、支援が必要な方は個別に専門家につなげる対応ができた。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

遊びに来たお母さんたちとの話の中で悩み事をくみ取り、知識の共有や専門家へ繋ぐなど、育児や発達について気になることを「気軽に相談する」が実施できた。

また、誰でも参加できる居場所とし、さまざまな年代が広場へ訪れた。今後も継続することにより地域での循環社会を目指す。コロナ禍でより増加傾向にある不登校の子の親の会を開催、来年度に向け子ども食堂のお試し開催もでき、今後繋がる活動になった。

「わかるかわる岡山市」にも取り上げられ、地域からも注目される事業になった。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

「循環する地域社会」にむけ、次の世代、次の世代へと続いていく取り組みを実施し、地域外からもたくさんの参加者を増やしていきたい。妊娠期から地域や広場とつながり、孤立する親子を減らし、虐待防止、子育てしやすい環境に貢献する。子ども食堂などや子供向けイベントを開催し、子供たちが分け隔てなく、学習や体験をできる場として低価格もしくは、無料開催していきたい。その為には、広場の仕組み作りが必要になる為、地域の人たちを巻き込んで、参加者が主体となれるような運営体制を考えていく。世代間交流事業を通して、多様な価値観にふれ、共生する社会づくりを学ぶ。